

みどりの風



令和6年12月18日発行 No.14
校長 池田 誉

人権参観日・お飾り作り

12月7日(土)に人権参観日・お飾り作り教室がありました。

1校時の授業参観では、各学級で道徳の授業を見ていただきました。1・2年生「ことばはまほう」、3・4年生「お母さんのせいきゆう書」、5・6年生「名前のない手紙」と、それぞれの学級で児童は、相手を思いやることや、勇気を出して正しいことを行うことの大切さについて真剣に考えていました。



その後は体育館で「お飾り作り教室」を行いました。指導者の手配や材料の準備などのお世話を「富原福祉のむらづくり推進委員会地域交流部」の方々がしてくださいました。

富原小学校の伝統行事であるお飾り作り。今年は講師の宮田精一さんを中心に、地域交流部の方や学校支援ボランティアの方に指導をお願いしました。

今年は、児童も自分で作れるように小さめのお飾り作りに挑戦しました。指導者の方に教えていただきながら、親子仲良く協力して楽しそうにお飾りを作る姿が見られました。ナンテンや紙垂(しで)、稲穂などの飾りもつけて、無事に立派なお飾りが完成しました。どのご家庭でもよい年を迎えることができそうです。

お忙しい中ご協力いただいた指導者のみなさまには、大変お世話になりました。ありがとうございました。



人権集会

12月4日(水)に蒜山在住のシンガーソングライター原田義雄さんをお招きし、人権集会を開催しました。



原田さんは視覚障がいをお持ちですが、コンサートや講演会など、各地で精力的に活動されています。富原小学校にも何回か来ていただいており、今回も、伸びのある歌声で、自らの体験やいろいろな人たちとの交流から生まれた楽しい歌を披露してくださいました。子どもたちも、原田さんのギターやピアノに合わせて一緒に歌ったり手拍子をしたりして、歌の世界に浸っていました。

原田さんはマラソンにも挑戦されているとのことで、一緒に走る伴走者役を児童に体験させていただきました。はじめは苦労していましたが「左に曲がります」「まっすぐ進みます」など、声をかけることで上手に案内ができるようになりました。原田さんから「障がいをもつ人を見かけたら『お手伝いしましょうか』と声をかけてみましょう」と教えていただきました。子どもたちにとって貴重な体験となったひとときでした。

マラソン大会

12月13日(金)にマラソン大会が行われました。学校の周囲に設定したコースを1・2年生は3周(1500m)、3・4・5・6年生は4周(2000m)走りました。

富原小学校の子どもたちは、1学期から業間に運動場を毎日3周走っていますが、11月からは7分間走る強化練習をしました。また、実際のコースの試走を行い、本番に備えました。

強化練習が始まった頃は、苦しそうに走っていた児童も、練習を積み重ねることにより、自分のペースを見つけて走れるようになりました。少しでも自分の記録を伸ばそうと、目標をもって練習に励みました。

そして迎えた当日。自信をもってスタートした子どもたちは、練習の成果を発揮し、出場した全員が見事に完走しました。記録も、ほとんどの児童が自己ベストを更新しました。この経験が今後の自信につながっていくことでしょう。

応援して下さった保護者及び地域のみなさま、児童の安全のために監視をして下さった学校支援ボランティアのみなさま、ありがとうございました。

